

16th FEFCO

Forest Ecosystem Function Colloquium (FEFCO) は、地域や地球全体のレベルで森林生態系の機能とその持続的活用法を統合的に理解することを目的とし、研究者間の学術交流を推進します。

第16回森林生態系機能コロキウムは、琉球大学の久保田康裕先生にご講演いただきます。久保田先生は、京都大学の生態学研究センターによる公開講演会（「データベースの構築と活用から見えてきた！ 新しい生物多様性のサイエンス」12/13、みやこメッセ）の講師として招聘されます。この機会に、FEFCOでも、久保田先生のご研究を紹介していただけることになりました。どなたでも参加できますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。京都大学農学研究科森林生態学研究室がホストを務めます。

16th FEFCO
2014/12/12 16:00 - 17:30
Faculty of Agriculture Main Building, S174

久保田康裕（琉球大学理学部）

森林群集の形成プロセスを
分類・系統・機能情報を統合的に用いて分析する

森林群集の形成プロセスは、分類学的情報（種組成や種多様度指標）に基づいて、主に検証されてきた。最近では、植物種の系統情報や機能情報が集積され、森林の系統構造や機能構造を測定できるようになりつつある。分類学的情報、系統学的情報、生理生態学的機能情報を統合的に用いれば、森林群集の集合プロセスを、歴史的究極要因から生態学的至近要因まで、幅広く詳細に分析することができる。よって、森林生態学の検証アプローチは、従来よりも定量的かつヒューリスティックなものに革新しつつあり、森林の資源管理や生物多様性保全に関しても予測力の高い提案ができるようになるだろう。今回の講演では、群集系統構造や機能構造の指標を用いた研究例を紹介し、このような研究アプローチの可能性を議論する。